

日本で食す！任国メシ：エルサルバドル料理「リグアス」

エルサルバドル料理といえば「ププサ」が有名ですが、今回は日本では今がシーズンのトウモロコシ料理「リグアス」をご紹介します。

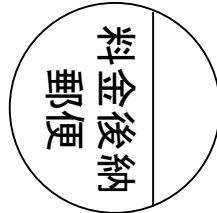
- 材料：2枚分
 ・トウモロコシ(中) 1本
 ・砂糖：大さじ1
 *日本のトウモロコシはかなり甘いので、様子を見て減らす。
 ・バター：10g(溶かしておく)
 ・塩：少々
 ・卵：1つ(といておく)
 ・小麦粉：大さじ1~2
 (トウモロコシ粉が手に入るようなら尚良し)
 ・フライパン用ホイル(バナナの葉が手に入るようなら尚良し)

- ①トウモロコシの皮、髭を取り、生のまま身をナイフで剥がす。
- ②剥がしたトウモロコシをミキサーにかける。完璧なペーストになる前(少し粒が残る程度)までが目安。ミキサーが回らないときは牛乳を少し入れる。
- ③②をボールに移し、それ以外の材料を入れ混ぜる。
- ④フライパンにフライパン用ホイルをひき、③を半量入れのぼす。ある程度火が通ったらさらにもう1枚フライパン用ホイルを上のにせ、そのままひっくりかえす。形状が維持できるぐらゐに火が通ったらフライパン用ホイルを取り直接フライパンで焼く。常に弱火で。
- ⑤しっかり火が通ったら出来上がり！

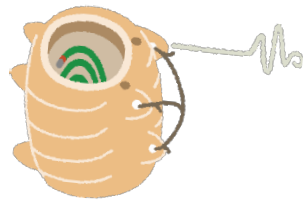
焼きあがったリグアスに、バターやクリームチーズ、サワークリームを添えたりすると美味しさが増します。エルサルバドル時代に本当に大好きな料理でした。なかなか現地の方のように上手には作れないのですが、日本ではあまり馴染みのないエルサルバドル料理、ぜひトライしてみてください。(橋口)



フライパン用ホイルで挟む。現地ではバナナの葉を使用



特定非営利活動法人九州海外協力協会
 〒812-0025
 福岡市博多区店屋町4-8 蝶和ビル503
 TEL: 092-710-5310 FAX: 092-710-5304
 E-mail: ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp



(特活)九州海外協力協会 ☆会員募集中☆
 当協会では、活動に御賛同いただける団体・個人の皆様を募集しております。会員の方には四半期毎に発行しております「九州海外協力協会だより(本紙)」をお送りさせていただいているほか、当協会主催、共催のイベント情報などをご案内しております。ご関心のある方は、以下へお問い合わせ下さい！

発行 特定非営利活動法人 九州海外協力協会
 〒812-0025 福岡市博多区店屋町4-8 蝶和ビル503
 TEL: 092-710-5310 FAX: 092-710-5304
 HP: http://www.npo-kyushu.or.jp/ E-mail: ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp



Instagram **インスタ的な** Instagram



世界の駅
 「台湾の十分駅」
 新型コロナ収束後、また旅に出たい。
 #鉄道はエコ #ランタンに願いを
 #台湾十分 #世界中を旅したい
 #写真で世界旅行 #コロナ禍終われ



九州海外協力協会だより



事務局長 ご挨拶

2020年・夏号

新型コロナ禍の中始まった新年度も3ヶ月が過ぎようとしています。「緊急事態宣言」、「外出自粛」、「テレワーク」といった異例の環境の中、会員の皆様のご協力のおかげで、当協会初の「書面表決」を用いた総会は無事終了しました。あらためて感謝申し上げます。

ここ3-4ヶ月で社会活動には大きな変化が生じましたが、多くの困難に見舞われた(ている)反面、様々な「気づき」や「学び」を得た期間でもあったと考えています。まだまだ予断を許さない状況ですが、大きな環境の変化に適応していくことは、青年海外協力隊経験者の得意とするところであります。今後訪れる新たなスタンダードの中でも、この社会が少しでも良くなるよう、引き続き努力していきます。九州海外協力協会 事務局長 馬田 英樹



初めまして！

鹿児島県国際交流センターです！！

鹿児島県国際交流センターは、京セラの稲盛和夫名誉会長からいただいた寄附金によってつくられ、2020年4月にオープンした県の施設です。外国人の留学生及び研究者等に居住施設を提供するとともに、留学生等相互の交流、留学生等と県民との交流を通じた国際社会に貢献する人材の育成及び国際相互理解の促進を図るために設置されました。この施設を指定管理者として鹿児島国際交流促進センター(NPO法人九州海外協力協会と青年海外協力隊鹿児島県OB会の共同事業体)が管理運営しています。

- <事業内容>
- ・利用者(入居者)に安全で快適な住環境を提供し、勉強や研究に集中できる環境を整えます。
 - ・利用者同士が交流できるように、イベントなど様々な機会を提供します。
 - ・利用者と県民との交流の機会をつくり、豊かな地域社会づくりに貢献します。



私たちが働いています！

スタッフからひと言！

新型コロナの影響で、歓迎会や交流会を実施できなかつたり、入居予定の留学生が来日できなかつたりと波乱の幕開けとなりました。現在は、中国、韓国、ベトナム、アメリカからの留学生(家族も含む)と、日本人学生(レジデント・アシスタント：外国人留学生の生活のサポートや、交流促進を行う学生)合計14名が入居しています。これから少しずつ入居者を増やしつつ、さまざまな交流を進めていきたいとスタッフ一同、はりきっています。

夏号の特集は、世界の保健医療のあれこれをご紹介します！！

コロナウイルス以外にも世界には怖い病気があるのではないだろうか・・・という話から、病気に対する対応の違いなど、いろいろな話を元協力隊員である当協会職員がシェアしてくれました。そこで・・・

世界のあれやこれや～保健医療編～

日常生活にひっそり忍び寄る 感染症・・・

中南米での生活で注意すべき感染症のひとつに「**シャーガス病**」があります。これは、サシガメというカメムシ目の昆虫が媒介する感染症です。

感染しても長い人では10年以上発症しない人や、一体いつ自分がカメムシに刺されたかはわからずシャーガス病になる人もいるという、この感染症。症状は、皮膚病変またはまぶたが腫れる、発熱、筋肉痛、呼吸困難、などがみられることがあります。また重篤な状態になると、心疾患や消化器疾患、不整脈や進行する心不全によって突然死を起こす場合もあるそうです。

この**サシガメ**は、土壁の家屋等に住むと言われているので、対策としては家屋での殺虫剤の散布や、住居の改善などと言われています。また、このシャーガス病に対する**ワクチンは今の所ありません**。

サシガメが住む地域は田舎の方で、そこに住む多くの方は貧しい暮らしをしています。また、感染がわかって病院へのアクセスが難しいなど様々な問題があります。「都会のお金持ちはかからない病気だから、エイズや Dengue 熱みたいにお金持ちもかかるような病気ではないから、いくら待ってもワクチンは開発されないんだ」という人もいます。「一部の人しかかからない感染症だから放置しておいていい」ということは決してないと思います。このコロナ禍をきっかけに、他の感染症にも関心を持って行く必要があると改めて感じています。(橋口)



土壁の家屋



私が「サシガメ」！！



シャーガス病についてはこちらのQRコードから。

そんな！ミクロネシアのシブは・・・

協力隊員として暮らしていたミクロネシアのポンペイ島では捻挫をするとあるものをシブ代わりにします。

ある日、旅行者の日本人が捻挫をしました。腫れた足首を見て、周りのポンペイ人たちはおもむるにバナナの木の茎をナイフで刻みだしました。バナナの茎の部分は、葉が幾層にもロール状になっている「仮茎」という構造で、樹液はねばねばしています。バナナの茎を刻んだものをバケツに入れ、「**天然シブ**」の完成です。捻挫した足を突っ込み1時間ほどすると腫れはひいてしまいました。バナナシブ効果すごい！**バナナは茎・葉・実と全て人の生活に使える魔法の木**ですが、それよりもポンペイ人の知恵とやさしさに感動した出来事でした。(米村)



先生、おはよう！

バナナの葉を傘にして！すでにびしょ濡れですが。

バナナの木。こんなに大きくなります。

マジで効く！ブラジルの「万能ナチュラル予防薬」！！

「あーなんだか風邪っぽいなあ。のどが痛い・・・」そんなとき、どうしますか？病院へ行く？寝て治す？のど飴やはちみつをなめてみる？ブラジルでちょっと風邪をひいたかなという時に活躍するのはこちら！

「**プロポリス**」です。プロポリスとは**ミツバチの巣に使われている樹脂状の物質で、抗菌作用があります**。プロポリスの液体を水で薄めたり飲み物に混ぜたりして飲んだり、プロポリススプレーをのどに吹きかけたりします。予防のために日常的に摂取している人もいます。写真は私が喉を痛めたときに近所の方にいただいた物。独特なおいと味がしますが、コーヒーに混ぜればそんなに気にならず飲みました。プロポリスの効果なのか、喉も無事に治りました。(浦越)



風邪をひいたときにいただいたプロポリス。

世界のマスク

ミクロネシア連邦ポンペイ島から飛行機に乗り1時間。大小さまざまな島があるチューク州には、「**デビルマスク**」というマスクがあります(感染症対策用ではないです)。大きさはさまざまですが、男と女バージョンがあるこのマスク、魔除けとして島内の様々な場所に飾られています。言い伝えはこんな感じ。「その昔Tol島に、悪さをするお化けが住んでいた。人々はこのお化けを追い払うためにデビルマスクを作った。お化けはデビルマスクを怖がり逃げ出し、二度と戻ってくることはなかった・・・完。」・・・お化けかぁ。

それにしても注目すべきはこのクオリティ。まるで油性マジックで描いたような顔。そのせいの一つ一つ表情に差があり、ついつい買ってしまう。愛着のある思い出の品です。(米村)



作り手によって表情が少し違います。哀愁漂うお土産屋さんのデビルマスク。



男バージョンは顎髭、頭に髪をお団子に結んだ突起があります。

新連載！

新職員「うらみき」の自分語り

Vol.1 「私が青年海外協力隊に参加した理由」

協力隊のことを知ったのは中学生の頃、協力隊参加経験者の方のお話を聞いた時でした。海外で働くことに興味を持っていた中学生の私には、とても良い出会いでした。このことをきっかけに、協力隊への参加というのは将来の選択肢の一つとしてずっと心の中にありました。

時は進み社会人になって2度目の夏、居酒屋で友人と話していた時のこと。

「協力隊に興味あるって言ってなかった？あれはもういいの？」

友人の言葉にハッとしました。**そうだ、私、参加してみたいんだ。今もやっぱり行きたいって思ってる。**やりたいことをやってみる、それでいいかもしれない。

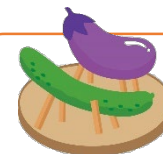
その日を境に私は協力隊参加へ向けて動き出しました。・・・次号へ続く (浦越)



派遣前訓練修了式。同期ブラジル隊員達と。

【豪雨災害：お見舞い申し上げます】

7月上旬の豪雨で広範囲にわたり冠水被害や土砂災害が発生し、多数の死者や行方不明者が出ている模様です。被害に遭われた皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたします。当協会としても、微力ではありますが、被災地への支援を検討しているところです。(職員一同)



2020 通常総会 General Assembly



冒頭の挨拶でも申し上げましたが、去る5月31日(日)、当協会事務所にて、今年度の通常総会が無事終了しました。「書面表決表」「委任状」によって参加して頂いた会員の皆様に加え、「外出自粛」状況の中、会場での議事にご協力頂いた3名の役員の皆様にも感謝いたします。誠に遺憾ながら、昨年度は赤字の決算報告となりましたが、議案はすべて原案通り、可決・承認して頂きました。今年度の活動もコロナ禍の影響で不透明な部分が多く、昨年同様厳しい事業運営を強いられることになると予想しております。これまで以上に皆様のご指導並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ところで、来年度は総会で役員改選を行う年次となります。例年通り皆様のご出席のもと通常総会が開催できることを願っております。(馬田)

オンラインでも！講師派遣やっています☆

浦越職員の「協力隊への参加きっかけ」続きが気になりますね。ブラジルに派遣されて、いったいどんな活動をしたんだろう?? 困ったことや嬉しかったことも聞きたいですね。

私も協力隊経験がありますが、新しく帰ってきた隊員のお話を聞くのはとても新鮮です。派遣期間は同じ2年間でもひとりひとり違うエピソードがありますし、なによりも開発途上国の今！を知るには一番です。インターネットで検索すれば国の事情なんて1発でわかる！と思っている方も沢山いらっしゃるよ。でも、現地に住んで地元で溶け込んで生活したからわかる本当の情報はネットではわかりません。そんなお話を聞いてみたい方は是非、当協会の「講師派遣」をご利用ください♪ オンラインでも実施できます!! (河野)

